2008年12月25日 19時30分

S. YAMAMOTO OSAKA

NO. 5733 P. 14/29

## PATENT ABSTRACTS OF JAPAN

(11)Publication number:

2003-203341

(43)Date of publication of application: 18.07.2003

(51)Int.Cl.

G11B 7/0045

G11B 7/125

(21)Application number: 2002-292942

G11B 7/24

(71)Applicant: (72)Inventor:

VICTOR CO OF JAPAN LTD

**UEKI YASUHIRO** 

(30)Priority

(22)Date of filing: 04.10.2002

Priority number: 2001337523 Priority date: 02.11.2001 Priority country; JP

(54) OPTICAL DISK, OPTICAL DISK RECORDING AND PLAYING BACK DEVICE, AND OPTICAL DISK RECORDING AND PLAYING BACK METHOD (57)Abstract:

PROBLEM TO BE SOLVED: To provide an optical disk like a DVD-RW of which the areas for

multiple speed can be effectively used.

SOLUTION: The optical disk includes an information recording area in which information is recorded by a laser beam radiated from an optical pickup and a management information recording area in which management information related to information recorded in the information recording area is recorded. The management information recording area preliminarily stores a plurality of multiple speed information corresponding to multiple speed number of an optical disc, and each of the plurality of multiple speed information contains recording power and recording strategy information for recording information in the information recording area corresponding to respective multiple speed numbers.



# (19) 日本国特許 (JP) (12) 公開特許公報 (A)

(11)特許出職公開番号 特開2003-203341

(P2003-203341A) (43)公開日 平成15年7月18日(2003.7.18)

(51) Int.Cl.7		<b>維別記号</b>	FI			(参考)
G11B	7/0045		G11B	7/0045	A	5D029
	7/125			7/125	С	5 D 0 9 0
	7/24	6 7 <b>1</b>		7/24	571B	5D119

		審查請求	未請求 請求項の数10 OL (全 15 頁)
(21)出國書号	特數2002-292942(P2002-292942)	(71) 出駅人	000004329 日本ピクター株式会社
(22)出願日	平成14年10月4日(2002.10.4)		神奈川県横浜市神奈川区守屋町3丁目12番地
(31) 優先権主祭番号 (32) 優先日 (33) 優先權主發面	特置2001-337523 (P2001-337523) 平成2年11月2日(2001.11.2) 日本(JP)	(74)代理人	植木 書弘 神奈川県教政市神統川区守里町3丁目12番 地 日本ピンター株式会社内 100083087 外間士 二瓶 正教
			三分子 1000

# (54) 【発明の名称】 光ディスク、光ディスク記録再生装置及び光ディスク記録再生方法

【課題】 DVD-RWなどの光ディスクに設けられて いる高倍速用の領域を有効に活用できる光ディスクを提 供することにある。

「【解決手段】 光ピックアップより照射するレーザピー ムにより情報を記録する情報記録領域と、前記情報記録 領域に記録される前記記録に関する管理情報を記録する 管理情報記録領域とを含み、前記管理情報記録領域に は、光ディスクの倍速数に応じて複数の倍速情報があら かじめ記録され、前記複数の倍速情報の各々は、各倍速 数に応じて前記情報記録領域に情報を記録するための記 録パワー及び記録ストラテジー情報を含む。



(2)

特別2003-203341

#### 【特許離求の範囲】

【請求項1】 光ピックアップより照射するレーザビー ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 からなる光ディスクにおいて、

前記情報管理領域には、前記情報記録領域に情報を記録 するための記録パワー及び記録ストラテジー情報が、当 核光ディスクの各倍速数に対応した記録管理情報として 記録形成されていることを特徴とする光ディスク。

【請求項2】 光ピックアップより照射するレーザビー ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 10 からなり、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記 級再生の単位がブロックであり、前紀ブロックは2つの ブロックアドレスを有するブロックと、1つのブロック アドレスと管理情報とを有するプロックとが存在する光 ディスクにおいて、

前記情報管理領域には、前記情報記録領域に情報を記録 するための記録パワー及び記録ストラテジー情報が当該 光ディスクの各倍速数に対応した記録管理情報として記 録形成されていることを特徴とする光ディスク。

【請求項3】 前記倍速数の数に対応した記録管理情報 20 を単位として、前記記録管理情報が前記情報管理領域に 繰り返し記録形成されていることを特徴とする請求項1 又は請求項2に記載の光ディスク。

【請求的4】 光ピックアップより照射するレーザビー ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 からなり、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記 録再生の単位がプロックであり、前記プロックとして、 2 つのプロックアドレスを有するプロックと、1 つのプ ロックアドレスと管理情報とを有するプロックとが存在 する光ディスクにおいて、

前記情報管理領域には、前記情報記録領域に情報を記録 するための記録パワー及び記録ストラテジー情報が当該 光ディスクの各倍速数に対応した記録管理情報として、 前記1つのブロックアドレスと管理情報とを有するプロ ックとして繰り返し記録形成されており、前記記録管理 情報を繰り返し記録形成することで前記情報管理領域に 生じた会りのブロックは、前記2つのブロックアドレス を有するプロックとして記録形成されていることを特徴 とする光ディスク。

【請求項5】 光ピックアップより照射するレーザビー 40 ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 からなる光ディスクであって、前記情報管理領域には、 前記情報記録領域に情報を記録するための記録パワー及 び記録ストラテジー情報が、当該光ディスクの各倍速数 に対応した記録管理情報として記録形成されている光デ ィスクに対して、情報を記録再生する光ディスク記録再 生装峭において、

前記情報管理領域に記録形成されている前記各倍速数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジ ー情報の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及 50 び記録ストラテジー情報を読み出す読出手段と、

び記録ストラテジー情報を読み出す読出手段と、

前記読出手段で読み出した記録パワー及び記録ストラテ ジー情報を基に、前記レーザビームの記録パワー及び記 縄ストラテジーを設定する設定手段とを有し、前記設定 手段で設定した記録パワー及び記録ストラテジーを備え た前記レーザビームを用いて、前記情報記録領域に情報 を記録することを特徴とする光ディスク記録再生装置。 【請求項6】 光ピックアップより照射するレーザビー ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 からなり、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記 録再生の単位がブロックであり、前記ブロックは2つの プロックアドレスを有するプロックと、1 つのブロック アドレスと管理情報とを有するブロックとが存在する光 ディスクであって、前記情報管理領域には、前記情報記 録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録スト ラテジー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した配 録管理情報として記録形成されている光ディスク対し て、情報を記録再生する光ディスク記録再生装置におい τ.

前記情報管理領域に記録形成されている前記各倍速数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジ 一情報の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及 び記録ストラテジー情報を読み出す読出手的と、

前記説出手段で読み出した記録パワー及び記録ストラテ ジー情報を基に、前記レーザビームの記録パワー及び記 鎌ストラテジーを設定する設定手段とを有し、

前記設定手段で設定した記録パワー及び記録ストラテジ ーを備えた前記レーザビームを用いて、前記情報記録領 域に情報を記録することを特徴とする光ディスク記録再 30 生装置。

【請求項7】 光ピックアップより照射するレーザビー ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 からなり、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記 録再生の単位がブロックであり、前記ブロックとして、 2つのブロックアドレスを有するブロックと、1つのブ ロックアドレスと管理情報とを有するプロックとが存在 する光ディスクであって、前記情報管理領域には、前記 情報記録領域に情報を記録するための記録パワー及び記 録ストラテジー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応 した記録管理情報として、前記1つのブロックアドレス と管理情報とを有するプロックとして繰り返し記録形成 されており、前記記録管理情報を繰り返し記録形成する ことで前配情報管理領域に生じた余りのプロックは、前 記2つのブロックアドレスを有するプロックとして記録 形成されている光ディスク対して、情報を記録再生する 光ディスク記録再生装置において、

前記情報管理領域に記録形成されている前記各倍速数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジ 一情報の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及

(3)

前記読出手段で読み出した記録パワー及び記録ストラテジー情報を基に、前記レーザピームの記録パワー及び記録ストラテジーを設定する設定手段とを有し、

前記設定手段で設定した記録パワー及び記録ストラテジーを備えた前記レーザビームを用いて、前記情報記録領域に情報を記録することを特徴とする光ディスク記録再 生装置。

【語欢頑多】 光ピックアップより照射するレーザピー ムにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域 からなる光ディスクであって、前記情報管理領域には、 10 前記情報登録領域に情報を記録するための記録パワー及 び記録末トラデンー情報が、当該光ディスクの各倍速数 に対応した記録管理情報として記録形成されている光ディスクに対して、情報を記録再生する光ディスク記録再 生方法において、情報を記録再生する光ディスク記録再 生方法において、

前記情報管理領域に記録形成されている前記各倍速数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジー情報の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及び記録ストラテジー情報を読み出す手順と、

前記読み出す手順で読み出した記録パワー及び記録スト 20 ラテジー情報を基に、前記レーザピームの記録パワー及 び記録ストラテジーを設定する手順とを行し、

前記設定する手順で設定した記録パワー及び記録ストラ テジーを傾えた前記レーザビームを用いて、前記情報記 鉄鋼域に情報を記録することを特徴とする光ディスク記 鉄再生装置。

「構成項目 1 光ピックアップより照射するレーザピームにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域の記録をなり、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記録再生の単位がブロックであり、前記プロックは2つの 30 ブロックアドレスを有するプロックとか存在する光ディスクであって、前記情報管理領域には、前記情報記録が「大変が成立情報を記録するための記録パワー及び記録ストラテジー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した記録と関係を記録するための記録パワー及び記録ストスを記録です。大変可能をといて、情報を記録するための記録パワー及び記録ストスを記録を関係をといて、指表でないる光ディスクさに設するために記録光によれている光ディスク対して、情報を記録再生する光ディスク記録再生方法において、情報を記録再生方法において、

前記情報管理領域に記録形成されている前記各倍速数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジ 40 一情報の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及 び記録ストラテジー情報を標本出せ手順と

前記読み出す手順で読み出した記録パワー及び記録スト ラテジー情報を基に、前記レーザビームの記録パワー及 び記録ストラテジーを設定する手順とを行し、

前記設定する手順で設定した記録パワー及び記録ストラ テジーを備えた前記レーザビームを用いて、前記情報記 銀質型に情報を記録することを特徴とする光ディスク記 銀再生方法。

【請求項10】 光ピックアップより照射するレーザビ 50 を記録し、アモルファスと結晶のレーザ光反射率の違い

ームにより情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からなり、能信報記書領域又は前記情報記報領域の記録再生の単位がプロックであり、前記プロックとして、2つのプロックドレスを育するプロックと、「つのプロックドレスを育まるプロックと、「お記情報記録はは、お記録記録報はに情報を記録さるための記録ない「少女び記録ストラテジー情報が当該光ディスクの各倍密数に対応を記録を開発として、能記しつのプロックに必定した記録容明情報として、能ごつつクロックに表現を情情報として、記しているとしているといると記録では、またない。

として記録形成されている光ディスク対して、情報を記 製剤生する光ディスク記録再生方法において、 約記情報管理関係に記録形成されている前記記信過数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジ 一情報の中から、必要な情速数に対応した記録パワー及 び記録ストラテジー情報を携歩出す手順と、

ックは、前記2つのプロックアドレスを有するプロック

の が記録ストンナン一情報を記じるロサマラはと、 か記読み出す手順で読み出した記録パワー及び記録ストラデジー情報を基に、前記レーザビームの記録パワー及び記録ストラデジーを設定する手順とを行し、

的記憶定する手順で設定した記録パワー及び記録ストラ テジーを備えた前記レーザビームを用いて、前記的概定 数額域に情報を記録することを特徴とする光ディスク記 鉄再生方法。

【発明の詳細な説明】

[0001]

【発明の属する技術分野】本発明は、オーパーライト可 ・ 能な光ディスクなどへの情報信号の記録を行う光ディス ク、光ディスク記録再生装置及び光ディスク記録再生方 法に関する。

[0002]

【従来の技術】レーザ光を利用して高色液の情報の再生や記録を行う技術は、主に光ディスク装置として実用化されている。光ディスクは、再生専用型、追記型、書換型に大別することができる。再生専用型は音楽情報を記したり、Coppact Disc)の関機情報を記述にひして、はた過記型はことをトレースを入れている。また、書換型として、CD-RWやDVD-RAM、DVD-RWを比較は後では、CD-RWやDVD-RAM、DVD-RWを比較は参加では、DD-RWを比較は多数では、CD-RWやDVD-RAM、DVD-RWを比較は多数では、CD-RWやDVD-RAM、DVD-RWを比較は後や音声の記録するるいはが、ソコン用のデータ短機関として商品であるいはが、ソコン用のデータ短機関として商品であるいはが、

【0003】 これちのうち、 書換型は、レーザ光などの 原物条件を変えることによって、2つ以上の状度が可逆 的に変化する記録網限を用いるものであり、主なものと して光磁気型と相変化型がある。相変化型ディスクは、 レーザが原料料条件を変化させることによって、記録標 をアモルファスと結晶間で可逆的に状態変化させて動き を記録し、アモルファスと結晶のレーザ光圧射率の違い (4)

を光学的に検出して再生を行うものである。このような レーザ光の反射率変化として信号の選生が可能である点 は再生専用型や追記型と同様であり、またレーザパワー を消去レベルと記録レベルの間で変調することによって 追記 (オーバーライト) が1ビームでできるため、装置 構成を簡略化できるといったメリットがある。

【0004】このような轡換可能な光ディスクにおける 信号記録の高密度化の手法としては、記録マークの前後 のエッジ位置がデジタル信号の「1」に対応するパルス 幅変調(PWM)方式が用いられていて、各社で材料の 10 組成、添加物、膜原などの違いにより、それぞれのディ スクにあった最適な記録パワーや、最適な消去パワー や、先頭パルスの幅、中間のマルチパルスの幅、後端パ ルスの幅などが異なるために、メーカごとにその最適な 記録パワーや、最適な消去パワーや、先頭パルスの幅、 中間のマルチパルスの幅、後端パルスの幅などの情報を ディスクにプリピットとして記録しておくようになって いる。また、近年、このような記録型ディスクの倍速化 の競争が激化してきている。

【0005】ところで、PWM方式では、記録マークの 20 長さが情報を持つため、記録マークを歪のないように、 すなわち前後対称に記録機に記録する必要がある。しか し、信号を記録する際のディスクのレーザ照射部分は、 蓄熱効果によって照射の開始点より終点の方が高温にな る。このため、記録マークは、先端より終端の方が幅が 広くなり、記録マーク形状が先端部で細く終端部で太く なって涙滴状に歪むという不都合がある。このように熟 記録であるので記録時の速度が変化すると記録条件が変 化することが知られている。

【0006】このために、本出頭人の下記の特許文献! 30 に記載のようにそれぞれのディスクにあった最適な記録 パワーや、最適な消去パワーや、先頭パルスの幅、中間 のマルチパルスの幅、後端パルスの幅などが異なるとい う実状である。

【0007】したがって、メーカごとにその最適な記録 パワーや、最適な消去パワーの情報や、先頭パルスの 幅、中間のマルチパルスの幅、後端パルスの幅などの時 間情報(ストラテジー)をディスクにプリピットとして 記録しておくようになっているが、高倍速化が急速に進 む中にあって、1倍速(線速度は3.49m/s)用の 40 前紀の情報はあっても、高倍速用の情報はなかった。 [0008]

【特許文献1】特開2001-209940母公報 [00009]

【発明が解決しようとする課題】例えば、あるディスク が1倍速、2倍速(線速度は3、49\*2m/s)、4 倍速(線速度は3. 49\*4m/s)の3和類に対応し ていて、1倍速用の情報しかない場合、1倍速、2倍 速、4倍速を記録可能な装置で記録する場合に、1倍速 をかけて記録パワー及びストラテジーをテスト記録して 求めるなどの処理を行って 4 倍速用の構造パワーなどを 探す必要があった。ただしユーザーが数10秒の時間を 待つのは商品として許されるものではなかった。

【0010】また、例えば、あるディスクが1倍速、2 倍速、4倍速の3種類に対応していて、1倍速と4倍速 用の情報しかない場合、1倍速と2倍速を記録可能な装 置で記録する場合に、1倍速で記録するかあるいは、2 倍速で記録するために長時間をかけて記録パワー及びス トラテジーをテスト記録して求めるなどの処理を行って 2倍速用の最適パワーなどを探す必要があった。

【0011】特に将来の、より高密度に配録可能な媒体 にとっては、そのディスクのそれぞれの回転数での記録 条件、特にストラテジーをディスクに記録しておくこと が必要であり、この結果、どの速度においても記録を開 始するまでの時間を短縮することができ、ディスクがV TRに取って代わるためには必須な条件であった。

【0012】加えて、この記録条件をディスクに記録す る場合に、ディスクの領域にも制限があり、現在のCD - Rのように、例えば、24倍速の記録を予想して、

1、2、4、6、8、12、16倍速用に記録条件を記 鉢する領域をそれぞれ確保しておいても、DVD-R/ RWでその倍速数に達するのは何年かかるか分からない し、何倍速まで川瓜をしておけばよいのかも分からな い。その時点になるまでは、高倍速用の領域は無駄にな ってしまうという問題点があった。つまり、将来性を含 めて、その領域を有効に活用することが望まれていた。 【0013】本発明は上記の問題点に鑑み、DVD-R Wなどの光ディスクに設けられている高倍速用の領域を 有効に活用できる光ディスク、光ディスク記録再生装置 及び光ディスク記録再生方法を提供することを目的とす る。

## [0014]

【課題を解決するための手段】本発明は上記目的を達成 するために、下記の構成を有する光ディスク、光ディス ク記録再生装置及び光ディスク記録再生方法を提供をす **ತ್ಕ** 

- (1) 光ピックアップより照射するレーザビームによ り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな る光ディスクにおいて、前記情報管理領域には、前記情 報記録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録 ストラテジー情報が、当該光ディスクの各倍速数に対応 した記録管理情報として記録形成されていることを特徴 とする光ディスク。
- (2) 光ピックアップより照射するレーザビームによ り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな り、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記録再生 の単位がプロックであり、前記プロックは2つのプロッ クアドレスを有するプロックと、1つのブロックアドレ で記録するかあるいは、4倍速で記録するために長時間 50 スと管理情報とを有するブロックとが存在する光ディス

(5)

7 クにおいて、前記情報管理領域には、前記情報記録領域 に情報を記録するための記録パワー及び記録ストラテジ ー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した記録管理 情報として記録形成されていることを特徴とする光ディ

- スク。 (3) 前記倍速数の数に対応した記録管理情報を単位 として、前記記録管理情報が前記情報管理領域に繰り返 し記録形成されていることを特徴とする請求項1又は請 求項2に記載の光ディスク。
- (4) 光ピックアップより照射するレーザビー人によ 10 り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな り、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記録再生 の単位がプロックであり、前記プロックとして、2つの プロックアドレスを有するプロックと、1つのプロック アドレスと管理情報とを有するプロックとが存在する光 ディスクにおいて、前記情報管理領域には、前記情報記 録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録スト ラテジー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した記 録管理情報として、前記1つのプロックアドレスと管理 **情報とを有するプロックとして繰り返し記録形成されて 20** おり、前配記録管理情報を繰り返し記録形成することで 前記情報管理領域に生じた余りのブロックは、前記2つ のプロックアドレスを有するプロックとして記録形成さ れていることを特徴とする光ディスク。

(5) 光ピックアップより照射するレーザビームによ

- り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな る光ディスクであって、前炉情報管理領域には、前炉情 報記録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録 ストラテジー情報が、当該光ディスクの各倍速数に対応 した記録管理情報として記録形成されている光ディスク に対して、情報を記録再生する光ディスク記録再生装置 において、前記情報管理領域に記録形成されている前記 各倍速数に対応した記録管理情報の記録パワー及び記録 ストラテジー情報の中から、必要な倍速数に対応した記 殺パワー及び記録ストラテジー情報を読み出す読出手段 と、前記読出手段で読み出した記録パワー及び記録スト ラテジー情報を基に、前記レーザビームの記録パワー及 び記録ストラテジーを設定する設定手段とを有し、前記 設定手段で設定した記録パワー及び記録ストラテジーを 備えた前記レーザビームを用いて、前記情報記録領域に 40 情報を記録することを特徴とする光ディスク記録再生装 闇。
- (6) 光ピックアップより照射するレーザピームによ り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな り、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記録再生 の単位がブロックであり、前記プロックは2つのプロッ クアドレスを有するプロックと、1つのプロックアドレ スと管理情報とを有するプロックとが存在する光ディス クであって、前記情報管理領域には、前記情報記録領域

一情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した記録管理 情報として記録形成されている光ディスク対して、情報 を記録再生する光ディスク記録再生装置において、前記 情報管理領域に記録形成されている前記各倍演数に対応 した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジー情 親の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及び記 録ストラテジー情報を読み出す読出手段と、前記読出手 段で読み出した記録パワー及び記録ストラテジー情報を 基に、前記レーザビームの記録パワー及び記録ストラテ ジーを設定する設定手段とを有し、前記設定手段で設定 した記録パワー及び記録ストラテジーを備えた前記レー ザビームを用いて、前記情報記録領域に情報を記録する ことを特徴とする光ディスク記録再生装備。

- (7) 光ピックアップより昭射するレーザビームによ り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな り、前記情報記録領域又は前記情報管理領域の記録再生 の単位がブロックであり、前記ブロックとして、2つの ブロックアドレスを有するブロックと、1 つのブロック アドレスと管理情報とを有するプロックとが存在する光 ディスクであって、前記情報管理領域には、前記情報記 録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録スト ラテジー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した記 録管理情報として、前記1つのブロックアドレスと管理 情報とを有するプロックとして繰り返し記録形成されて おり、前記記録管理情報を繰り返し記録形成することで 前記情報管理領域に生じた余りのブロックは、前記2つ のプロックアドレスを有するプロックとして紀録形成さ れている光ディスク対して、情報を記録再生する光ディ スク記録再生装置において、前記情報管理領域に記録形 成されている前記各倍速数に対応した紀録管理情報の記 録パワー及び記録ストラテジー情報の中から、必要な俗 演数に対応した記録パワー及び記録ストラテジー情報を 読み出す読出手段と、前記読出手段で読み出した記録パ ワー及び記録ストラテジー情報を基に、前記レーザビー ムの記録パワー及び記録ストラテジーを設定する設定手 段とを有し、前記設定手段で設定した記録パワー及び記 録ストラテジーを備えた前記レーザビームを用いて、前 紀情報記録領域に情報を記録することを特徴とする光デ ィスク記録再生装置。
- (8) 光ピックアップより照射するレーザビームによ り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな る光ディスクであって、前記情報管理領域には、前記情 報記録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録 ストラテジー情報が、当該光ディスクの各倍速数に対応 した記録管理情報として記録形成されている光ディスク に対して、情報を記録再生する光ディスク記録再生方法 において、前記僧報管理領域に記録形成されている前記 各倍速数に対応した記録管理情報の記録パワー及び記録 ストラテジー情報の中から、必要な倍速数に対応した記 に情報を記録するための記録パワー及び記録ストラテジ 50 録パワー及び記録ストラテジー情報を読み出す手順と、

(6)

料用2003-203341

前記読み出す手腕で読み出した記録パワー及び記録スト ラテジー情報を基に、前記レーザビームの記録パワー及 び記録ストラテジーを設定する手順とを有し、前記設定 する手順で設定した記録パワー及び記録ストラテジーを 備えた前記レーザビームを用いて、前記情報記録領域に 情報を記録することを特徴とする光ディスク記録再生装

(9) 光ピックアップより照射するレーザビームによ り情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域からな り、前記情報記銭領域又は前記情報管理領域の記録再生 10 の単位がブロックであり、前記プロックは2つのブロッ クアドレスを有するブロックと、1つのブロックアドレ スと管理情報とを有するプロックとが存在する光ディス クであって、前記情報管理領域には、前記情報記録領域 に情報を記録するための記録パワー及び記録ストラテジ ー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した記録管理 情報として記録形成されている光ディスク対して、情報 を記録再生する光ディスク記録再生方法において、前記 情報管理領域に記録形成されている前記各倍速数に対応 した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジー情 20 報の中から、必要な俗連数に対応した記録パワー及び記 録ストラテジー情報を読み出す手順と、前記読み出す手 順で読み出した記録パワー及び記録ストラテジー情報を **基に、前記レーザビームの記録パワー及び記録ストラテ** ジーを設定する手順とを有し、前記設定する手順で設定 した記録パワー及び記録ストラテジーを備えた前記レー ザビームを用いて、前記情報記録領域に情報を記録する ことを特徴とする光ディスク記録再生方法。

(10) 光ピックアップより照射するレーザビームに より情報を記録する情報記録領域及び情報管理領域から 30 なり、前記情報記録領域又は前紀情報管理領域の記録再 生の単位がブロックであり、前記プロックとして、2つ のプロックアドレスを有するプロックと、1つのプロッ クアドレスと管理情報とを有するブロックとが存在する 光ディスクであって、前記情報管理領域には、前記情報 記録領域に情報を記録するための記録パワー及び記録ス トラテジー情報が当該光ディスクの各倍速数に対応した 記録管理情報として、前記1つのブロックアドレスと管 理情報とを有するプロックとして繰り返し記録形成され ており、前記記録管理情報を繰り返し記録形成すること 40 で前記情報管理領域に生じた生じた余りのプロックは、 前記2つのプロックアドレスを有するプロックとして記 録形成されている光ディスク対して、情報を記録再生す る光ディスク記録再生方法において、前記情報管理領域 に記録形成されている前記名俗連数に対応した記録管理 情報の記録パワー及び記録ストラテジー情報の中から、 必要な倍速数に対応した紀録パワー及び記録ストラテジ 一情報を読み出す手順と、前記読み出す手順で読み出し た記録パワー及び記録ストラテジー情報を基に、前記レ

る手順とを有し、前記設定する手順で設定した記録パワ **一及び記録ストラテジーを備えた前記レーザビームを用** いて、前記情報記録領域に情報を記録することを特徴と する光ディスク記録再生方法。

10

[0015] 【発明の事施の形能】以下、本発明の寡極の形能につき

好ましい実施例により説明する。 【0016】後述するように、本発明の一実施例である 光ディスク22(図9)は、光ピックアップ(PU)24 より照射するレーザビームにより情報を記録する情報記 録領域であるデータ領域、及び情報管理領域であるリー ドイン領域(いずれも図12)からなる光ディスクであ る。情報管理領域には、情報記録領域に情報を記録する ための記録パワーPo及び記録ストラテジーTtop. Tmp, Tc1 (図1)情報が、当該光ディスクの各倍 速数(例えば1倍速、2倍速、4倍速、8倍速、12倍 速、16倍速)に対応した記録管理情報として記録形成 されている。

【0017】また、本発明の光ディスクは、情報記録領 域又は情報管理領域の記録再生の単位がプロック(EC Cプロック)であり、プロックは2つのプロックアドレ スを行するプロック(各フィールドIDを構成するパー トA. Bにそれぞれプロックアドレスが記録されている 状態、情報記録館2000年録出生に用いられている)と、 1つのプロックアドレスと管理情報とを有するプロック (各フィールドIDを構成するパートA、Bのうちのパ ートAだけにプロックアドレスが記録され、パートBに は管理情報が記録されている状態、情報管理領域の記録 再生に用いられている)とが存在する光ディスクであ

【0018】さらに、本発明の光ディスクは、倍速数の 数に対応した記録管理情報を単位として、記録管理情報 が情報管理領域に繰り返し記録形成されていることを特 徴としている。例えば、(1倍速に関する記録管理情 報, 2倍速に関する記録管理情報, 4倍速に関する記録 管理情報, 8倍速に関する記録管理情報, 12倍速に関 する記録管理情報。16倍速に関する記録管理情報。 ···) = a, a, a, ···, aというように、繰り返し記録 形成されている。

【0019】さらにまた、本発明の光ディスクは、記録 管理情報を繰り返し記録形成することで情報管理領域に 生じた余りのブロックは、2つのブロックアドレスを有 するプロックとして記録形成されている。例えば、情報 管理領域の総プロック数= $n(n:整数) \times \alpha + \beta$  の場 合に、αを1つのプロックアドレスと管理情報とを有す

るブロックで構成し、βを2つのブロックアドレスで構 成することである。 【0020】一方、本発明の光ディスク記録再生装置の 一実施例である光ディスク記録再生装置(図9)は、前述

ーザビームの記録パワー及び記録ストラテジーを設定す 50 した本発明の光ディスク22(図9,図12)に対して、

(7)

11 情報を記録再生する光ディスク記録再生装置であって、 情報管理領域に記録形成されている各倍速数に対応した 記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジー情報の 中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及び記録ス トラテジー情報を読み出す読出手段(光ピックアップ2 4)と、肺出手段で締み出した記録パワー及び記録スト ラテジー情報を基に、レーザピームの記録パワー及び記 録ストラテジーを設定する設定手段(システムコントロ ーラ12、サーボプロセッサ15、ドライバ18)とを 有し、設定手段で設定した記録パワー及び記録ストラテ 10 ジーを備えたレーザビームを用いて、情報記録領域に情 報を記録することを特徴としている。

【0021】他方、本発明の光ディスク記録再生方法 は、前述した本発明の光ディスク22(図9、図12)に 対して、情報を記録再生する光ディスク記録再生方法で あって、情報管理領域に記録形成されている各倍速数に 対応した記録管理情報の記録パワー及び記録ストラテジ 一情報の中から、必要な倍速数に対応した記録パワー及 び記録ストラテジー情報を読み出す手順と、読み出す手 順で読み出した記録パワー及び記録ストラテジー情報を 20 基に、レーザビームの記録パワー及び記録ストラテジー を設定する手順とを行し、設定する手段で設定した記録 パワー及び記録ストラテジーを備えたレーザビームを川 いて、情報記録領域に情報を記録することを特徴として

【0022】次に、本発明の具体的な実施例について説 明する。本発明に係る高密度な光ディスクでは、その種 類や記録時の線速度の変化に応じて、記録レーザ波形を 最適形状に補正する必要がある。本発明の実施の形態の 光ディスクであるDVD-RWの記録波形の形状は、図 30 1のようになる。

【0023】この記録データは8-16変調信号の入力 波形の一例であり、Tはクロック周期である。ここで、 マークを形成すべくマーク長8Tと3Tに対応する信号 のパワーレベルは、記録部の(最適) 記録パワーPo と、消去部の消去パワーPeと、記録パワー中のマルチ パルスTmpと記録から消去に切り換わる時点のクーリ ングパルスTclのパイアスパワーPbの3種類があ る。パイアスパワーPbは、DVD-RWの場合、再生 パワーと同じ値である。また、記録のタイミングのスト 40 ラテジーは、記録先頭部のTlopと、マルチパルスT mpのデューティとクーリングパルスTclの時間を最 適に決定することにより最適な記録を行うことができ

【0024】また、他の光ディスクであるDVD一Rは 図示しないが、DVD-RWに比較して、消去パワーP cを再生パワーに変更して、クーリングパルスTclを なくすことで実現でき、以降DVD-RWと同様に説明 することができる。例えば、DVD-Rの場合は、記録 パワーと再生パワーの間をこのようにマルチパルス状に 50 し、フィールドID0~フィールドIDn+1により構

するのではなく、時間的に中間の区間のパワーのレベル を最初及び最後の時間のパワーのレベルより下げること でもストラテジーを実現できる。その場合は、その中間 のパワーの下げるレベルや、タイミングを規定すること によって間様に説明することができる。また、DVD+ RWはDVD-RWと、DVD+RはDVD-Rと同様 であり、ブルーレーザに対応したディスクの規格である Blue-ravDisc規格もDVD-RWと間様である。

12

【0025】 DVD-RやDVD-RWでは、本出願人 が先に提案した特別2001-148124号公報にも 記載されているように、記録可能なデータ及びリードイ ン領域には、記録するグループトラックがウォブル(一 定の周波数 (1倍速の線速度3.49m/5のとき、約 140kHz) で蛇行) していて、グループとグループ の間のランドには、ランドプリピット(以下LPPまた はLPP情報)によるアドレス情報や管理情報などの情 報が埋め込まれている。

【0026】このLPP情報は、記録情報(装置の外部 から入力されるデータ)として記録する信号の記録再生 の誤り訂正の単位である1つのECCブロック長で記録 されるディスクのグループ位置に対応して、1つのアド レスとその他の情報が1つの単位となってディスクのグ ループのサイドのランドにあらかじめランドプリピット として構成され、1つのECCブロックに対応する1ブ ロックは16のフィールドから構成されている。その詳 総は図2~図8に示す通りである。この単位の情報は、 フィールド 1 D (1プロックに相当) と呼ばれる。

【0027】図2は1倍速ディスクの場合のLPP情報 のフォーマットを示し、! 倍速のLPP情報のフォーマ ットはフィールドID〇~ID5により構成される。図 2において、フィールドIDOとしてはECCプロック アドレスなどが記録され、これはディスクのデータ領域 のランドに記録される。また、フィールドID1として はアプリケーションコードなどが、フィールドID2と してはOPC推奨コード/ライトストラテジーコード1 などが、フィールド [ D3としては製造 | D1などが、 フィールドID4としては製造ID2などが、フィール ドID5としてはライトストラテジーコード2などがそ れぞれ記録され、これらはディスクのリードイン領域の ランドに記録される。

【0028】そして、規格として、1倍速よりも高倍速 の記録速度が追加される毎に図3に示すように2つのフ ィールドID(ID6、ID7、…)がリードイン領域に 追加され、フィールドID6としてOPC推奨コード/ ライトストラテジーコード1(2×)。フィールドID7 としてライトストラテジーコード2(2×)などが記録さ れる。図3はm倍速(2倍速, 4倍速, 6倍速, 8倍 速, 12倍速, 16倍速, …, m倍速)ディスクに対応 した規格における場合のLPP情報のフォーマットを示 (8)

13

成される。また、図4、図5、図6、図7、図8はそれ ぞれ、図2及び図3に示すフィールド100、102、 1D5、1Dn、1Dn+1に記録される情報を詳しく 示す。

【0029】図4はフィールド1D0を示し、この情報 がデータ領域のランドに記録されている。フィールド1 D O のフレーム O - 2 には E C C プロックアドレスが記 級され、フレーム3-5にはそのパリティが記録され、 フレーム6にはフィールドID値が記録され、フレーム 7-9にはECCプロックアドレスが記録され、フレー 10 ム10-12はリザーブ領域であり、フレーム13-1 5にはそのパリティが記録されている。

【0030】図4~図8に示すように、各フィールド1 DはパートAとパートBから成る。各パートAには必ず ECCブロックアドレス(フレーム0-2)とそのパリテ ィ(フレーム3-5)が記録されている。各パートBはそ れぞれのフィールドIDに対応した固有の情報が記録さ れている。フィールド100はパートAとパートBとに 2つのECCブロックアドレスとそのパリティとがそれ ぞれ記録され、パートBにはフィールドID値が記録さ 20 れている。パートBのフレーム10-12はリザーブ領 域である。! 作迹 (線速度は3. 49m/s) 川のディ スクの場合、図2のようにフィールド!Dにはフィール ドIDOからID5までの種類があり、フィールドID 0以外はリードイン領域に記録されている。

【0031】フィールド1D1、1D3、1D4につい ては詳細には記述しないが、前述したフィールドID 0、「D2、1D5と間様に、それぞれパートAとパー トBとを備えている。各パートAには必ずECCプロッ **ラアドレス(フレーム0-2)とそのパリティ(フレーム 30** 3-5)が記録されている。フィールドIDIのパート Bには、フィールドID値とアプリケーションコードと してディスクの一般用途、特殊用途などの用途の情報 と、物理コードとしてトラックピッチ、線速度、直径、 反射率、記録方式の種類(相変化記録方式の媒体かそれ 以外)、記録可能か書換可能などの物理仕様の情報が記 載されている。フィールドID3とフィールドID4の パートBには、フィールドID値と製造者のIDがそれ ぞれ記載されている。

【0032】フィールドID2のパートBのフレーム6 40 には、図5のようにフィールド I D値(2)が、フレー ム7-8にはOPC推奨コードが、フレーム9-12に はライトストラテジーコード1が、フレーム13-15 にはパリティが記載されている。このOPC推奨コード は、ディスクメーカが推奨する図1の記録パワーP o と、消去パワードで(又は消去パワードでの記録パワー Poに対する比率 ε=Pe/Po)と、場合によって記 録の条件を決定するための記録信号を再生したときの再 生信号の8-16変調の全ての信号の振幅の中で長いT に対する短いTの位置を示すβ又はアシンメトリ値の推 50 【0037】また、図3のフィールドID7は、図8の

ุ 奨値 (記録最適情報) が記載されている。またライトス トラテジーコード1は図1のストラテジーのTtop、 Tmp、Trlの推奨する時間情報が記載されている。 [0033] フィールドID5のパートBのフレーム6 には、図6のようにフィールド10値(5)が、フレー ム7-10にはライトストラテジーコード2が、フレー ▲11-12には倍速値(1X)が、フレーム13-1 5にはパリティが記載されている。このライトストラテ ジーコード2は図1とは異なる波形の場合のストラテジ 一のTtop、Tmp、Tclの推奨する時間情報が記 戯されている。倍速値は、このディスクが何倍速で記録 できるか示すものであり、倍速値(例えば、1倍速のと きの線速度が3. 49m/sである場合は、3. 49の 数値又は倍速値の1又は、これを16進数にコード化し た値が以降においても記載される)と、好ましくは記録 最適情報(記録の条件を決定するための記録信号を再生 したときの再生信号の振幅の中で長いマーク長下に対す る短いマーク長Tの位置を示すβ又はアシンメトリ値= 記録最適情報) の推奨値が以降の倍速値の領域にも記載 されている。なお、記録最適情報は前述したように、ま た後述するようにOPC推奨コードの中に記述されても よい。

【0034】ディスクとして、この記録できる俗迷数が 多ければ、このフィールドIDの数が多くなることにな る。ここでは、フィールド102とフィールド105に 示している内容は、このフィールド105に示す1倍速 用の値であることを示している。ディスクが1倍速のみ の対応である場合には、この倍速値は記載されなくても よい

【0035】図3は、このディスクが1倍速(線速度は 3、49m/s)、2倍速(線速度は3.49\*2m/ s) ~m倍速 (線速度は3. 49\*m m/s) に対応 している場合のフィールドIDの構造を示している。図 3 で太線で囲んだ部分(フィールド IDO~フィールド ID5)は、図2と1倍速の内容であることを記述した 以外は同じである。図3のフィールドID6は、フィー ルドID2のパートBと同様に図7のnが6であるとき であり、2倍速に対応したフィールドID値(6)とO PC推奨コードと、ライトストラテジーコード1(2 ×) が記載されている。

【0036】このOPC推奨コードはディスクメーカが 推奨する2倍速のときの図1の記録パワーPoと、消去 パワーPeと、場合によって記録の条件を決定するため の記録信号を再生したときの再生信号の抵幅の中で長い Tに対する知いTの位置を示す B 又はアシンメトリ値 (紀録最適情報) の推奨値が記載されている。また、ラ イトストラテジーコード1は図1のストラテジーのTt op、Tmp、Tclの推奨する時間情報が記載されて いる。

(9)

15 n+1が7であるときであり、図6に示すフィールド1 D5のパートBと同様に、フレーム6には2倍速のフィ ールドID値(7)が、フレーム7-10にはストラテ ジーコード2が、フレーム11-12には倍速値が、フ レーム13-15にはパリティが記載されている。この ストラテジーコード2は図1とは異なる波形の場合のス トラテジーのTiop、Tmp、Tclの推奨する時間 情報が記載されている。

[0038] 同様に、図3のフィールドIDnは図7の ように、このディスクのm倍速に対応している場合のフ 10 ィールド 1 D 2 と同様な内容の構造を示している。図3 のフィールド I D n + 1 は図8のように、このディスク のm倍速に対応している場合のフィールドID5と同様 な内容の構造を示している。

【0039】このように、1つの倍速数が追加になるの に従って、それぞれの倍速数に対応した2つのフィール ドIDを追加することになる。例えば、・1、2倍速用 のディスクであれば、IDはIDOからID7まで、・ 1、2、4倍速用のディスクであれば、IDはID0か 5 1 D 9 まで、・1、2、4、・・・m倍速用のディス 20 クであれば、IDはID0から1Dn+1までとなる。 このIDが何処まで追加されるかによって、何倍速に対 応しているかを簡単に知ることができ、便利である。

【0040】 洋迷しないが、フィールドID1のアプリ ケーションコードの一つとしてエクステンションコード を用意しておき、エクステンションコードはフィールド IDが ID 5までであれば0としておく。例えば、2倍 速の場合は、最大の「Dは「D7になるので、ID6と ID7の2つが追加されるということでエクステンショ ンコードは2とする。つまり、最大のIDの数マイナス 30 5をエクステンションコードとする。IDn+1を最大 とすると、そのときのエクステンションコードはn-4 になる。

【0041】 このように、そのディスクが対応している 倍速数に応じてフィールド1Dを用意して記録しておく ことにより、記録再生装置はそれぞれの倍速値に対応す るパワー設定の最適値を、それぞれの最適な倍速数で、 最適な記録条件を得ることができる。

【0042】次に、図11と図12はそのフィールドI の内周から外周までの全体の領域を示していて、内周に はデータ領域の記録再生を管理するための情報及びこの ディスクの固有情報が記録されるリードイン領域が設け られ、このリードイン領域に続いて、データを記録再生 するデータ領域がある。ディスクが未記録の状態ではデ ィスク(データ前域)のグループには、ウォブル(付けと、 アドレス付けであるしPPが1 ECCプロック単位で形 成されている。

【0043】特にDVD-RWのリーダブルエンポス領

示す)は、エンポスプリピットで形成され、ウォブル情 報のみ存在し、LPP情報は存在しない。図12及び図 11では、特に、DVD-RWを代表して説明するが、 DVD-Rでは、リーダブルエンボス領域はエンボスで なく、記録再生可能な領域でもよく、その場合、LPP 情報は他のリードイン領域と同様に存在する。

【0044】図11はリードイン領域のフィールドID の配置を説明する図であり、リードイン開始位置(開始 ECCプロックアドレス) から、リードイン終了位置 (終了ECCプロックアドレス)まで、フィールドID 1からフィールド I Dn+1が繰り返して配置されてい る。リードイン開始位置(フィールドID1、アドレス 番号FFDD05h) からリーダブルエンボス開始位置 の直前までは、図12に示すリードイン領域内の内局側 にある「LPP情報有り」の位置に対応する。間様に、 リーダブルエンボス開始位置からリーダブルエンボス終 了位置の直前までは、図12に示すリードイン領域内の 「LPP情報無し、リーダブルエンボス領域」の位置に 対応する。リーダブルエンボス終了位置直後からリード イン終了位置(フィールドIDO、アドレス番号FFD 000h) の直前までは、図12に示すリー・ドイン領域 内の外周側にある「LPP情報行り」の位置に対応す る。リードイン領域に続くデータ領域には全て2つのア ドレスを行するフィールドID0が配置されている。す なわち、データ領域のフィールドIDOのパートAとパ 一トBとにはそれぞれ、同一のECCプロックアドレス とそのパリティとが記録されている。このリードイン領 域の配置は、例えば、対応する倍速数が1倍速のみであ れば、フィールド I D O からフィールド I D 5まで(図 2に対応)が繰り返され(例えばIDO~ID5. 1D0 ~ I D 5. ···)、対応する倍速数が多ければフィールド IDn+1まで(図3に対応)、フィールドIDが増える ので、その分の繰り返し回数が減少するが(例えば I D 0~1Dn+1, ID0~1Dn+1, ...), それぞれ の対応する倍速数に応じて、必要なフィールドIDのみ が存在するので、ディスク上に無駄がなく、その領域の 情報を再生する場合にも、その倍速において最短の時間 で再生を行うことができる。

【0045】また、リードイン終了位置付近では、フィ Dのディスク上の配置を示している。図12はディスク 40 ールドIDの数(例えば、1倍速時のフィールドID数 =6)の繰り返し数に応じて繰り返しを行った場合に、 リードイン領域全体のECCプロック数に対して割り切 れないことが発生する。その場合には、リードイン終了 位置より内周側の割り切れないで余った領域を、データ 領域と同じ2重のアドレス(2つのアドレス)を行するフ ィールドIDOを配置しておく。データ領域は記録再生 をリアルタイムに行うことがあるので、記録や再生を確 実に行うために、LPPのアドレスを確実に読む必要が ある。そのためにデータ領域には、フィールドIDOの 域再生専用領域(図12ではリーダブルエンボス領域と 50 LPPアドレスが2世に記録されているフィールドID

(10)

特別2003-203341

17 を記録している。ここでリードイン終了位置の内側の数

ECCブロックは、データ記録を開始するに当たって、 確実にアドレスを読み出す必要があるので、1Dの繰り 返し数が変化した場合にも、余った領域をフィールド「 **Ð** Oにして置くことにより、より確実にアドレスを取得 することができる。

【0046】 DVD-RWではリーダブルエンボス領域 が存在し、この領域にはLPP情報がないので、フィー ルドIDは存在しない。この場合にも図示しないが、望 ましくはリーダブルエンボス開始位置の内周側の割り切 10 れない数の領域にはフィールドIDOを配置する。これ によって、リーダブルエンボス開始位置の確認をより確 実に行うことができる。また、リーダブルエンポス終了 位置の外周側の数トラックはフィールドIDOを配置す る。これによって、間様にリーダブルエンボス終了位置 の確認をより確実に行うことができる。

【0047】DVD-Rにおいては、このリーダブルエ ンボスが存在する場合は同様であり、存在しない場合。 つまり、この領域がプリレコードされている場合は、L ールドIDを連続して記録してある。

【0048】次に、図9及び図10を参照して記録再生 装置の主要部を説明する。キー入力部10により入力し た再生や記録の開始は、システムコントローラ12が判 断し、信号処理部14やサーボプロセッサ16に指令す る。サーボプロセッサ16は、ドライバ18を介してス ピンドルモータ20を駆動し、光ディスク22が回転す る。記録再生用の光ピックアップ (PU) 2.4から読み 出した信号は、図10に詳細な構成を示したプリアンプ 2.6 に供給され、ここで再生信号とサーボ信号を生成す 30 る。サーポエラー信号は、サーボエラー信号生成回路 4 9で生成される。サーボプロセッサ16でサーボ信号を 処理することにより、光ディスク22のトラックに対す るフォーカシングやトラッキングの信号を生成する。そ して、これらの信号に基づいて、ドライバ18により光 ピックアップ24のアクチュエータを駆動することによ り、光ピックアップ24の一巡のサーボ制御が行なわれ

【0049】再生信号は、図10に示すプリアンプ26 に供給され、RFアンプ50で増幅される。増幅後の再 40 生信号の周波数特性は、イコライザ52で最適化し、P LL回路54でPLL制御をかける。また、PLLのビ ットクロックとデータの時間軸の比較からジッタ生成回 路56で生成したジッタ値をシステムコントローラ12 がA/D変換して制定し、この値に従って記録時の波形 補正回路を変更する。ジッタ生成回路56のジッタ検出 タイミングは、後述するタイミング生成回路74によっ て制御される。信号処理部14では、再生信号がディジ タル個号に変換され、例えば、同期検出が行われる。こ

10

ータにデコードされ、エラー訂正処理が行なわれてセク タのアドレス信号とデータ信号を得る。

【0050】この信号は、可変転送レートで圧縮された 個号であるので、これを一時記憶メモリ28 (4MBの DRAM) に記憶し、可変転送レートにおいて時間軸を 合わせるための補正(時間軸の吸収)を行う。一時記憶 メモリ28から読み出された信号は、 A V エンコーダ・ デコーダ30により伸長され、オーディオとビデオの信 号に分離される。そして、それぞれD/Aコンバータ (図示せず) により、アナログの音声信号と映像信号に 変換出力される。また、記録時は外部より入力したデー タをAVエンコーダ・デコーダ30にて圧縮し、信号机 理部14にて光ディスク22に記録するためのフォーマ ット処理を行いプリアンプ26でレーザ変調を行い図1 のような波形を生成し光ディスク22に記録する。

【0051】また、プリアンプ26のPLL回路54で 生成した光ディスク22の速度信号をサーボプロセッサ 16に送り、この速度信号によって光ディスク22をC LVで回転制御している。スピンドルモータ20のホー PP情報が存在するので他のリードイン領域と同じフィ 20 ル素子などによる回転位置信号はサーボプロセッサ16 へ帰還し、この信号から生成した速度信号から、一定回 転のFG制御も行っている。

> 【0052】 RFアンプ50からの再生付けはアシンメ トリ検出回路70(又は8検出回路)で、8-16変調 信号の最長信号11Tのピークとボトムの振幅位置に対 して最短信号3Tの中心位置がどの位置になるかを判別 し、この結果をシステムコントローラに伝える。アシン メトリ検出タイミングはタイミング生成回路74によっ て制御される。サーポエラー信号生成回路 4 9 からディ スク上のアドレス信号と、記録再生のタイミング信号に なるアドレス検出回路73とスピンドルの速度信号と、 記録時のクロック信号の基になるウォブル信号をウォブ ル検出回路72にて生成する。

> 【0053】ウォブル検出回路72で得られた周波数信 号をPLL回路71にてスピンドルの速度信号と記録時 のクロック信号として生成する。この信号は記録データ を生成する信号処理部14及び後述するタイミング生成 回路74に送られる。アドレス検出回路73で得られた ディスク上のアドレス情号と記録再生のタイミング信号 はシステムコントローラ12と信号処理部14に送ら れ、記録再生のタイミング信号はテスト記録を行うため とテスト記録を行った領域を再生するためのタイミング 信号を生成するタイミング生成回路74に送られる。タ イミング生成回路74では、記録時にテストパターン発 生回路64とシステムコントローラ12と信号処理部1 4にタイミング信号を送り、テスト記録を行った領域を 再生するためのタイミング信号をアシンメトリ検出回路 70とジッタ生成回路56に送る。

【0054】以上の各部の全体制御は、システムコント れにより、ディスク上の8-16変調信号からNRZデ 50 ローラ 12が行っている。他に、記録したい画像の解像 (11) 特別2003-203341

**商やカーレースなどのスピードの速いシーンなどを取り** 分ける場合や、記録時間優先で設定するためのキー入力 や外部からの制御データをマイクロコンピュータ(図示 せず) が認識しており、切換端子により記録時間を変更 したり、設定を外部のユーザが選択できるように構成さ れている。

【0055】 波形補正回路60は、遅延素子とAND回 路により構成できる。すなわち、入力信号を遅延素子で 遅延した後、最初の入力候号との論理籍を求めること で、図1の記録波形が得られる。波形補正回路60で は、システムコントローラ12の制御に基づく線速度の 切換回路62により、大きな単位での時間軸の切換えが 行われ、次に、後述するようにアシンメトリ値又はジッ タ値が最良になるように図1の各時間関係の詳細な時間 粉定が行われる。なお、上述したモニターダイオードか らの帰還信号はシステムコントローラ12のA/D変換 器に入力しモニタできるようになっている。

【0056】タイミング信号はタイミング生成回路74 によりアシンメトリ校出回路70に供給される。タイミ シグ生成回路74には、ウォブル検出回路72及びPL 20 L回路71より出力されたウォブル信号及びアドレス検 出回路73より出力されるランドプリピット(LPP) (8) が供給される。例えば、ディスクより11年されたウ ォブル(計) (例えば、1 (作述である線速度3. 49m/ sのとき約140kHz) は記録クロック信号(約2 6、16MHz)に通信された信号としてタイミング生 成回路74に供給され、ディスクより再生された図10 に示すLPP信号もタイミング生成回路74に供給され る。 LPP信号に問期して1シンクフレームの信号が記 録されているので、したがって、タイミング生成回路? 30 4はLPP信号の位置を基準として記録クロック信号に 基づいてカウントすることによりECCプロック内のセ クタの記録開始位置に対応したタイミング信号を発生す ることができる。

【0057】このようなディスクの記録再生装置におい て記録再生を行う場合には、ディスクを挿入して、最初 の立ち上げの際に、リードイン領域にLPPとしてn+ 2個 (Oからn+1までなのでn+2個) の複数回に繰 り返し紀録されているフィールドIDの少なくとも1つ の繰り返しを再生し、フィールドID1のエクステンシ 40 ョンコードから存在するIDの数が読み出したIDの数 を満足しているかを確認し、フィールド I D 2 及びフィ ールドID5又はフィールドID6以上の領域から、本 紀録再生装置に適合した倍速数(線速度)に対応する記 録パワー、消去パワー、ストラテジー値などの記録再生 に必要な情報を再生する。例えば、本記録再生装置が2 倍速記録と4倍速記録が可能である場合で、ディスクが 1、2、4倍速の記録が可能である場合には、速い方の 値の4倍速を選択して取得し記憶する。

法では、本記録再生装置の各記録パワー、消去パワー、 ストラテジー値などの記録再生に必要な情報を設定し、 以降の情報の記録処理を行う。

【0059】第2の方法では、この読み出した情報を基 に、リードイン領域より内周の後述するRMD領域より 更に内周のPCA (パワーキャリプレーションエリア) 領域又はデータ領域に移動し、前記の読み出した値を基 準として各記録パワー、消去パワー、ストラテジー値な どを変更しながらテスト記録を行い、このテスト記録し 10 たデータを読み出してこのデータのアシンメトリ (又は 8) 値又は、ジッタやエラーレート、変調度などを測定 し、この値に基づいて、最適な各紀録パワー、消去パワ 一、ストラテジー値などを決定して、ユーザーデータの 記録を行う。

【0060】次に、ここで求めた最適な各記録パワー、 消去パワー、ストラテジー値などを次に示すRMD(レ コーディングマネージメントデータ:記録管理情報)に 記録する。図13はRMDの内容を示している。RMD には様々な管理情報を記録しておく領域があるが、ここ ではRMDのフィールド1として、記録再生装置がデー タ領域にデータを記録した場合に、その記録条件を記録 再生装置の固有情報と共に記録しておき、以降にディス クが抑入されたときにはMが情報によって、その記録単 生装器で記録した記録条件であるかを判別し、その記録 再生装備で記録した情報であり有効であると判断した場 合には、そのデータを用いて記録を行えるようにするこ とで、記録開始までの時間を短縮するために用いること ができる。

【0061】この領域には、記録再生装置の製造 I D (製造メーカ名など)、記録再生装置の製造段階におけ るシリアル番号、モデル番号、倍速(線速度)の条件に よって異なりフィールドIDの中で、実際に記録した条 件に相当するストラテジーコード1と、記録パワー、テ スト記録を行ったときの年、月、日、時刻(時間、分、 秒)、PCA領域の中の記録キャリプレーション位置 と、必要な場合はランニングOPC (Optimum Power Co ntrol) 情報 (記録しながら記録パワーを最適するため の条件や結果などの情報)、倍速の条件によって異なり フィールドIDの中で、実際に記録した倍速条件(線速 度)に相当する消去パワー(又は消去パワーPeの記録 パワーPoに対する比率を=Pe/Po)、記録パワー (8ピットデータとしてコード化された)、 記録最適情 報(記録時の最適パワーを決定するためのアシンメトリ 値又は β値)、何倍速で記録したかの倍速情報(又は線 速度情報)などを記載する。

【0062】この記録内容は全てを記録することは必須 条件ではなく、必要な情報を組み合わせて用いればよ い。ただし、ここでは、倍速の条件によって異なる記録 パワー、消去パワー、ストラテジー値などをその条件で 【0058】記録再生装置はこの情報を基に、第1の方 50 ある倍速値(線速度)とを記録再生装置の固有な固体情

特別2003-203341

報と共に記録しておくことにより、次にその記録再生装 置が記録する倍速数によって、有効に用いることができ るかできないかを正確に判断することができる。特に、 記録再生装置によって温度などの環境条件やディスクの 而振れや儀式が大きい場合には、例えば、通常 4 倍速で 記録できる場合に2倍速に練速度を落として記録を行う 場合がある。このようなときに、記録条件の倍速値(線 速度)を記録しておくことにより、記録条件の情報を閲 違えることなく用いることができる。ただし、倍速値は それぞれの倍速(線速度)によって別のRMD領域に記 10 録するようにすれば、何倍速の情報であるかが判断可能 であり、記録することは必須要件ではなく、判断できれ ば方法は問わない。

【0063】また、本実施例では1つの倍速の追加によ り2つのフィールドIDを追加しているが、追加するフ ィールド I Dがそのバイト数などによって、1 つでも3 つ以上でも、また記録する項目もこの項目以外に、倍速 に関係するサーボ系のゲインに関する情報や変調度やジ ッタなどの関連情報を入れても構わない。また、本実施 例では1倍速の情報からπ倍速の記録に関する情報まで 20 をフィールドIDの情報として記録しているが、異なる 少施例として、1倍速の記録に関する情報をフィールド I Dの情報として記録し、2 倍速以上の高倍速の記録に 関する情報については通常の情報が記録可能な情報管理 領域にあらかじめ記録しておいてもよく、例えば図11 のリーダブルエンボス領域にピット情報として記録して もよい。また、DVD-Rなどの1回のみ記録する媒体 においては、これをプリライトにより記録してもよい。 【0064】また、本実施例は曹操可能な相変化記録の DVD-RWを例に説明したが、DVD+RWでも、次 30 世代のDVRブルーのフォーマットにも適用可能である し、1回記録の可能な有機色素系のDVD-R、DVD +Rや次世代のブルー系のフォーマットにも消去パワー を削除すれば適用可能であるし、図1のような記録スト ラテジー波形に限定されるものではなく、記録ストラテ ジーとは記録を行うときの記録波形の振幅及び時間方向 の制御の全てを含んでいる。また、磁気記録系のMD、 DWDD、ASMO、MAMMOSなどの次世代フォー マットにも適用できることは言うまでもない。 [0065]

【発明の効果】以上説明したように、本発明によれば、 光ディスクの高倍速化が急速に進み、その度に規格を変 更することによる環境エネルギーの消費と装置の設計変 更などを招くことがなく、標準化をスムーズに行うこと ができるので、市場の進化のスピードを促進し、また、 それぞれの倍速に対応したディスクにおいて、情報の無 **以をなくし、効率よく冗長度を上げることができ、領域** を有効活用することができる。また、本発明によれば、 ディスクが何倍速に対応しているかが理解でき、最適な 俗速を選択して記録することができるとともに、温度が 50 52 イコライザ

22 上がったり、ディスクの面振れや偏芯が多いなどの条件 により、記録再生装置の倍速の標準の速度で記録できな い場合でも、記録可能な速度に落としてその条件で記録 することが可能になる。さらに、複数の倍速に対応した ディスクであっても、その情報の読み取りは簡単に行う ことができ、情報に無駄がないので、短時間で必要な情 報を取得でき、冗長度が高いので信頼性よく機能を取得 することができる。

## 【図面の簡単な説明】

【図1】本発明の実施例に係る光ディスクの基本的な作 用を示す記録波形図である。

【図2】本発明の実施例に係る光ディスクのフィールド 1D0~1D5に記録される情報を示す図である。

【図3】 本発明の実施例に係る光ディスクのフィールド

IDO~IDn+1に記録される情報を示す図である。 【図4】本発明の実施例に係る光ディスクのフィールド

1 D O に記録される情報を詳しく示す図である。 【図5】本発明の実施例に係る光ディスクのフィールド

ID2に記録される情報を詳しく示す図である。 【図6】本発明の実施例に係る光ディスクのフィールド

ID5に記録される情報を詳しく示す図である。 【図7】本が則の実施例に係る光ディスクのフィールド IDnに記録される情報を詳しく示す図である。

【図8】本発明の実施例に係る光ディスクのフィールド ▮ D n + 1 に記録される情報を詳しく示す図である。

【図9】本発明の実施例に係る光ディスク記録再生装置 の主要部を示すプロック図である。

【図10】図9で示す記録再生装置のプリアンプの構成 例を示すプロック図である。

【図11】本発明の実施例に係る光ディスクのリードイ ン領域に記録される情報を示す図である。 【図12】本発明の実施例に係る光ディスクの全体の構

造を示す図である。 【図13】本発明の実施例に係る光ディスクのRMDに

#### 【符号の説明】

記録される情報を示す図である。 10 キー入力部 12 システムコントローラ

14 信号処理部 16 サーボプロセッサ

18 ドライバ

20 スピンドルモータ

22 光ディスク

24 ピックアップ (PU) 26 プリアンプ

28 一時紀憶メモリ

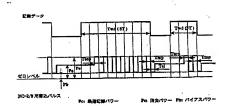
30 AVエンコーダ・デコーダ 49 サーポエラー信号生成回路

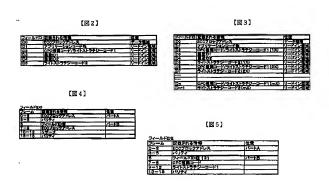
50 RFアンプ

(13) 特別2003-203341 24 \*66 温度検出回路 54、71 PLL回路 56 ジッタ生成回路 70 アシンメトリ検出回路 72 ウォブル検出回路 58 レーザ駆動回路 73 アドレス検出回路 60 波形補正回路 7.4 タイミング生成回路 62 切換回路 64 テストパターン発生回路

【図1】

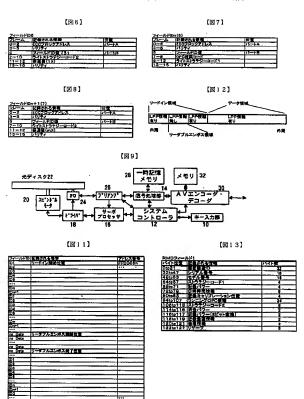
## DVD-RW 書込手法





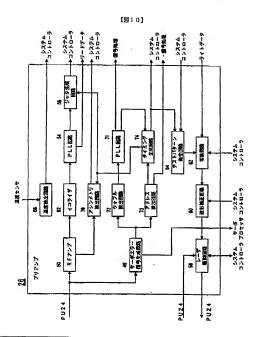
(14)

特周2003-203341



(15)

特別2003-203341



## フロントページの続き

Fターム(参考) 5D029 PA03

5D090 AA01 BB03 BB05 CC01 CC14 DB01 EE01 FF21 GC33 III01

JJ11 KK04 KK05

5D119 AA23 AA24 BA01 BB02 BB04 DA01 HA20 HA27 HA28 HA47 HA60